

2013年 冬期スクーリング

2013年1月25日(金)・26日(土)・27日(日)
本草薬膳学院 9F 教室

まだ寒い日が続く1月。通信教育コース生を対象にした、冬期スクーリングが本学院で開催されました。全国から参加されました16名の通信生の皆さんは3日間、劉学院長・松本先生の講義に熱心に耳を傾けておりました。



スクーリングを終えて 通信教育コース 余慶 尚子

「面白かった!!」というのが率直な感想です。
辰巳先生の講義が分かりやすく、しかも奥が深い。
「大学の講義レベルなんじゃない?」というくらいの質の高さで、もっと受けたい!
その奥深さをもっともっと知りたいと思える3日間でした。

私は他校にて少し中医学を学び、自宅にてひとりで勉強することも苦なくできていたのですが、実際にスクーリングに参加してみると、中医学の未知なる深さを痛感いたしました。そして、薬膳料理を作ることの意味、その難しさや責任も感じることができました。この内容の濃いスクーリングを受けた後は、勉強に取り組む姿勢も変わり、より深いところで理解することが可能になりました。これからは実践を多く積み、色々試してみたいと思っています。また、一緒にスクーリングに参加した仲間たちとこれからも切磋琢磨していきたいと思っています。

「通信教育コース」にて、これからスクーリングを考えている方は、少しでも多くの中医学理論についての知識があると辰巳先生の講義がより面白く感じることができると思います。



刺激を受けた3日間

通信教育コース 大坪 律子

久しぶりの東京。何名くらいスクーリングに参加するのだろうか…。神田駅からの道すがら、そんなことしか考えず緊張感は全くなかった。授業が始まるまでは…。

実際、授業が始まるとあつという間の午前の講義。

目から鱗とはこのことだ。もともともと劉先生の話を聞きたい!と思った。古代中国のエピソードなど、プチ曆女の私にとつてはとても興味深かった。午後の授業では皆でワイワイ楽しい調理実習。調理しているよりおしゃべりしている方が多かったかも(笑)。講義を受ければ受けるほど、中医学・薬膳の奥深さに驚き、難しさを実感したが、その分「やりがい」も感じた。これから、もっと勉強するぞー!

私は腸の病気を持っているため、「食事の大切さ」を身を持って感じている。周りの方々にもそれを伝えていきたいら…。そして、そして…私の野望が沸々と湧いてきた(笑)。

今回のスクーリングで一番良かったこと、それは素晴らしい仲間に出会えたこと。十六名の方々それぞれに目標を持っていて、皆、輝いていた。皆からいい「気」をもらった。皆さん、これからもよろしく願います。最後に、劉先生、松本先生、平尾先生、スタッフの皆様、ありがとうございました。

